

やいちゃんはシラタガリノ! ギぼしてなんだ?

星木レイ



浄土宗コードモタイムズ

第73号

發行
淨土宗兒童教化連盟

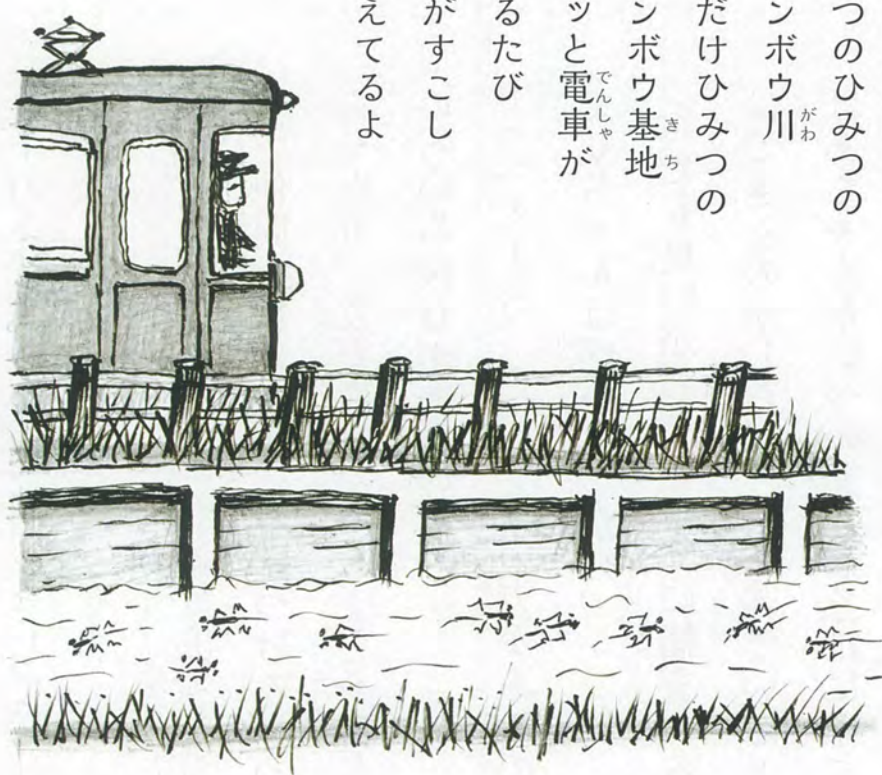
齊藤 一光
〒873-0002
大分県杵築市大字
南杵築371
正覺寺内

TEL 0978-62-3063
FAX 0978-68-8301

ア
メ
ン
ボ
ウ
川

詩・絵
今井
康隆

アメンボウは
線路のソバ
川面をウジャウジャ
泳いでる
細い小川をスーイスイ
いつたりきたりのグルグル
町中のアメンボウは
ここから飛ぶの
ひみつのひみつの
アメンボウ川
ボクだけひみつの
アメンボウ基地
ゴーツと電車が
とおるたび
川面がすこし
ふるえてるよ



臭いばかりじゃないよ

星木 レイ

あきば 秋晴れの良い天気。時おりすずしい風に吹かれながら、まりちゃんは、おばあちゃんの畑を手伝っていました。

つやつやしたナスを取ろうとして、まりちゃんは、ナスの葉に虫がいるのに気がつききました。カメに似た虫：

「あつ、カメムシだ！」とまりちゃんがさけぶと、

「見つかったちゃったか…」とカメムシはちよつと頭をかきました。

「あなたたち、今年が多いのね」まりちゃんはカメムシを見つめながらつぶやきました。

「スギやヒノキの花粉が多い年は、ボクたちも多いのさ」カメムシが言いました。

「それがご飯なのね。茶色いのはよく見るけど、君は緑色ね」

「ボクたちは八百種類以上いるといわれ

ているのさ。植物の茎や葉や実から養分を吸うのが多いから、害虫といわれるけど、中には害虫を食べる小形の仲間もいて、農業の助けになったりしているのさ」

「へえーつ、臭いだけじゃないのね」まりちゃんは目をまるくして言いました。

「でも大体は臭いわね。お母さんが、洗たく物にくっついて困るって言ってたわ」

カメムシはすまなさそうに、「ボクたちはあたたかくて日当りのいいところが大好きなんだ。物干しは絶好の場所だね。特に白い布や服が好きだよ」

「へえー、そうなの。でもなぜ秋になるとたくさん出てくるの？」まりちゃんは不思議そうにたずねました。

カメムシは、ちよこちよこつと動きながら答えました。

「ボクたちは春に卵から生れて夏にかけて大きくなり、秋に成虫になるんだ。だからこれからが本番だよ。でも寒さに弱いから冬は冬眠するけどね」

「そうなんだー。そのすごい臭いは何のためにあるの？」まりちゃんが眉をひそめ

ながら聞くと、カメムシはナスの茎にストローのようにとがった口をさして、汁を吸うと答えました。

「ボクたちが臭いのは敵から身を守ったり、仲間を集めたり、気をつけろーっと知らせたり、友だちになろうよと合図したり、いろいろ役目があるのさ」

「へえーつ、そんな使い方があるのね」まりちゃんは感心しながら、

「でも臭いがしないように捕まえることはできるのかしら…」と考えていると、おばあちゃんがいつの間にかそばに来て、手に持ったびんの中にす早くカメムシを入れたと、きっちりフタを閉めてしまいました。

「カメムシは自分の臭いで死んじゃうんだよ」と言いながら歩いていくおばあちゃんを見ながら、

「さすがカメムシの臭いはハンパじゃないなあ」とつくづく思うまりちゃんでした。

おしまい





問質

毎日、仏様に手を合わせていると幸せになれますか

(大分 小学三年 女子)

幸せになれます！

幸せにもいろいろな幸せがあります。

大好きなゲームを買ってもらえる、応援して

いるチームが勝つ、スポーツで活躍する、勉強

ができる、行きたいところへ連れて行ってもら

える…

こういった大きな幸せもあれば、きれいな景

色を見た、今日も友だちに会えた、挨拶ができ

た、「ありがとう」と言えることがあった、と

いうような小さな幸せもあります。

仏様に手を合わせても、大きな幸せを手にな

ることはなかなかありません。まず大きな幸せ

はそんな毎日起きる事ではありません。

仏様に手を合わせると、毎日の暮らしのなか

にある小さな幸せをみつけることができます。

病気にかかることもなく、今日も元気に起き

られた。これも幸せ。朝お父さんやお母さん、

家族がいてくれて「おはようございます」と挨拶

できた。これも幸せ。ごはんが食べられた。

トイレに行けた。友だちに会えた。遊べた。勉強

できた。これらすべて幸せなことです。

そんなこと「あたりまえ」と思ってしまうと、

幸せが逃げていきます。

仏様に手を合わせ、仏様の心をいただいて小

さな幸せをちゃんとみつけてみてください。き

つと毎日幸せに生活できますよ。いろいろなこ

とに感謝できると思いますよ。

「ありがとう」と思えることが多い生活こそ、

幸せな毎日です。ぜひ今後も仏様に手を合わせ

てください。

これも仏教の言葉だよ！

タシヨウの縁



袖振り合うもタシヨウの縁ということば
があります。

道を行くとき、お互いに見知らぬ人同士
が袖を触れ合ったり、擦り合ったりする程
度のこと、これにも縁がありますよという
意味です。

どのくらいの縁があるのでしょうか「多
少」ちよつとの縁と思ったら大間違い。

「多生」何度も何度も生まれ変わりに
変わりして、ようやくたどり着いた、めぐ
り合えたご縁ですよという意味です。

同じ意味で「同席対面五百生」という言
葉もあります。電車や料理屋さんや映画館
たまたま同席対面する人でさえ、五百回の
生まれ変わりでようやくめぐり合える深い
ご縁といわれます。

身近な人ほど、小さなことでけんかにな
ってしまったり、相手を傷つけてしまう時
があります。そんなとき大切な方との過去
のご縁(多生の縁)を想像してみましよう
同席対面だけで五百生となれば、親子や家
族、友だちとなればどれだけ会うことが難
しいご縁でしょうか。長い時間をかけてよ
うやく巡り合えたご縁です。その縁を大切
に育てていきましょう。

ちがいがし

みんなよう
考えよう



絵：岡本こずえ



右の絵と左の絵の違いを5つ
見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記ま
で送ってください。正解者の中
から抽選で30名に記念品をお送
りします。記事の感想や意見も
いっしょに書いてくださいね。
しめきり令和6年3月15日です。

送り先

〒873-0002

大分県杵築市大字南杵築371

正覚寺内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0978-6213063

FAX 0978-688301

前回の答え



お知らせ

◆みなさんからの記事 wait しています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も wait しています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◆送り先は 〒873-0002 大分県杵築市大字南杵築371 正覚寺内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0978-6213063 FAX 0978-688301

感想もいっしょに書いてくださいね。

ぷくぷく編集室

今回のお

話にも出て

くるカメム

シですが、

どんな虫か

見たことは

ありますか。



カメムシはカメの甲羅のよう
な形をしているのでそう呼ばれ、
へっぴり虫、へこき虫ともいわ
れ、強い悪臭を放ちます。

カメムシはよく洗濯物にくっ
つきますが、それは明るい色を
好むので白いシャツやタオルな
どに集ってくるようなのです。
またカメムシは寒いのが苦手な
ので、日当たりのよい場所に干し
てある洗濯物に寄ってくるとい
われます。カメムシのひなたぼ
っこですね。

カメムシはくさい臭いで人間
にはきわられています。びん
などに入れて閉じこめてしま
うと、ストレスを感じて自分の
おいで死んでしまうそうです。